

良い事がいっぱい！子どもの「粘土遊び」

コロナ感染拡大で、なかなか外に遊びに行けずお家で遊ぶことが増えましたね。

室内遊びといえば・・・「ねんど遊び」。折り紙と同様、幅広い年齢のお子さまが楽しめる遊びです。

様々な形に変えられる粘土は、作りたいものを自在に作れる優れたもの。

自分が作ろうとするものを思い、それをどうやって作るかを考える事によって、子どもの想像力や創造性が育まれます。

また、粘土で遊んでいる時のお子さまは一言もしゃべらず黙々と作業していませんか？

これは自分が作りたいものを仕上げる為にとっても集中しているからです。

「次はこんな形にしよう」「次はこれを作ろう」などと次々と先の事を考えている事も多く、自然と集中力が持続しやすくなるのです。

また、いろいろな感覚を刺激してくれるのも粘土遊びのメリットの一つ。

粘土の柔らかさ、湿っぽさ、色、冷たさ、匂いなど五感を刺激する要素が詰まっています。

この粘土の心地よい柔らかさは脳に良い刺激を与えるだけでなく、子どもの小さく細い指先を鍛えるにもとても向いています。

最近は様々な粘土が売られていますが、小さなお子さまが口に入れても大丈夫な「小麦粉粘土」はおすすめです。

お家にある材料（小麦粉1カップ・水 1/3 カップ・サラダ油少々・塩小さじ1）で簡単に作れますよ。

色を付けたいときは、食用色素（食紅）を少し混ぜると、カラフルな粘土の出来上がり！

主原料が小麦粉なので口に入れても安心ですが、小麦アレルギーのお子さまの使用は避けて下さいね。

お家遊びを親子で粘土遊びを楽しめば、コミュニケーションも取れるので一石二鳥ですね。